

重点的取組み14

基本目標	家庭の子育て力が向上し、安心して子育てができる
施策の方向性	子育てと仕事を両立することができる
施策	保育・子育て支援を充実させる

重点的取組み14	待機児童の解消
担当課	幼児保育課
対象者	未就学児及びその家庭
計画策定時の状況	<p>○待機児童解消対策計画(H25策定)により待機児童の解消に向けた施策を推進</p> <p>1 保育所の整備 ・平成26年4月 公立17所 民間36所 定員5,089人(整備)平成26年9月 民間1所 90人 平成26年11月 民間1所 45人</p> <p>2 小規模保育事業 ・平成26年4月 2所 38人(整備)平成26年6月 1所 9人 平成26年8月 1所 10人</p> <p>3 幼稚園の預かり保育の整備 ・松戸市補助対象園(要件:週6日 11時間開園)・H25 4園・H26 6園</p> <p>4 利用支援コンシェルジュの設置 ・設置の検討</p> <p>5 潜在保育士再就職支援事業 ・H26実績 受講者14人 就労6人 人材バンク登録6人 検討中2人</p> <p>6 認定こども園の推進 H27認定こども園への移行は既存認定こども園(1園)のみ H26意向調査結果 保育園3園 幼稚園2園(他1園はすでに認定こども園)</p>

具体的事業	内容
228 保育所の整備	待機児童の解消に向け、保育需要に応じた認可保育所の整備を民間の活力を活かし推進していきます。また、児童の安全確保の為、保育所の耐震化対応等の老朽化対策を推進します。保育機能面の整備も地域ごとに行っていきます。
229 小規模保育事業	0～2歳のお子さんを対象に、少人数(定員6～19人)で預かる保育事業で、新制度における「地域型保育」事業の一つに位置づけられています。
230 幼稚園の預かり保育の整備	在園中のお子さんを対象に幼稚園の通常の時間以外に別料金で保育を行なっています。在園児保護者の就労支援につながるよう事業を拡充していきます。
231 利用支援コンシェルジュの設置	多様な保育ニーズを持つ保護者に対し、相談に応じた的確な施設等の利用案内を行ないます。
232 潜在保育士再就職支援	潜在保育士の再就職に向けた研修を実施し、市内の保育所(園)での就労をサポートし、保育士確保を図ります。
233 認定こども園の推進	幼稚園と保育所等が就学前の子どもの教育・保育を一体的に行う認定こども園について、教育・保育内容や運営等について研究、推進を図ります。保護者の就労状況等に関わらず、子どもが地域で継続して通うことができる認定こども園の普及に努めます。平成31年度までに23か所の幼稚園・保育所(園)等から認定こども園への転換を図ります。

具体的事業	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	保育所の整備 ※整備数は、別途「松戸市子ども総合計画5章」において記載				
	小規模保育事業 ※整備数は、別途「松戸市子ども総合計画5章」において記載				
	幼稚園の預かり保育の整備 ※整備数は、別途「松戸市子ども総合計画5章」において記載				
	利用支援コンシェルジュの設置 (1か所)	(1か所)	(1か所)		
	潜在保育士再就職支援 潜在保育士再就職支援研修実施				
	認定こども園の推進 (1か所)				
					(計23か所)

事業	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)	課題及び対応	
実績	保育所の整備	H27.4月開園 5園開所 定員446人 H28.4月開園 2園開所 定員210人	5園 定員445人	新設1園、増築1園 定員165人	H31.4開園 新設1園、建替え2園 定員120人	○施設の老朽化による修繕・建替えが課題。 建替えを行う際、定員増を図る。 ○保育所建設の際、用地の確保が課題 次年度、不動産や建築に関する知識や経験をもつ人材を嘱託職員として雇用し、物件の掘り起こしを行う予定。
	小規模保育事業	H27.4.1 8園 定員 115人 H28.4.1 31園 定員 485人	13園 定員211人	17園 定員263人	H31.4開園 10園 定員175人	○連携先の確保が課題。 幼稚園での長時間預かり保育を実施する幼稚園を連携先として設定。 ○保育の質の確保 利用支援コンシェルジュの専門性を活かし、定期的が巡回相談や『保育所保育質のガイドライン』の普及や研修などを行い、保育の質の向上に努める。 ○駅前での優良物件の確保が課題 次年度、不動産や建築に関する知識や経験をもつ人材を嘱託職員として雇用し、物件の掘り起こしを行う予定。
	幼稚園の預かり保育の整備	保護者助成金を整備 施設補助金の要件緩和 (11時間→10時間) 補助額の拡大 (60万円→120万円) (学校法人以外は150万円)	●施設補助金の要件緩和 1. 1週間の開園日(5日・6日から選択) 2. 開園時間(12時間～10時間までの選択) 3. 預かりを実施しない日(5日以内・10日以内を選択)●保護者助成金の拡大 保護者助成金を整備 (保育所と幼稚園の差額について 1ヶ月2万5千円まで助成)	●施設補助金の要件緩和 預かりを実施しない日を15日以内も選択可とする ●施設補助金の補助対象経費に事務職員分を追加可能とする	●幼稚園の預かり保育事業を保育園を運営する社会福祉法人に委託するモデル事業を実施する。	○長時間預かり保育を実施する幼稚園の拡充 ○モデル事業を検証して委託型預かり保育事業での実施園拡充
	利用支援コンシェルジュの設置	H27.4より幼児保育課内に2名配置	●H28.4より幼児保育課内に4名設置 利用支援に加え、小規模保育所等への巡回を実施	年間3回の小規模保育施設の巡回を行い、事故防止や安全管理等、保育の質向上に向け相談・指導を行う。	保育に関する知識・経験に優れた者を雇用し、保護者ニーズに合致したサービスの提供及び、年3回の小規模保育施設の巡回指導を行い事故防止等、安全管理、保育の質の向上に向け相談・指導を行う。	増え続ける保護者ニーズや施設の増加に伴い、コンシェルジュを増員予定。より高い保育の質が提供できるよう、従来の巡回指導に加え、施設の監査などにも同行する。
	潜在保育士再就職支援	6月12日～7月8日に開催 受講者 22人うち就労14人	千葉県により潜在保育士を対象とした貸付事業の実施開始 ・未就学児をもつ保育士に対する保育料の一部貸付 ・就職準備金貸付 ※実施主体は千葉県社会福祉協議会	平成28年度と同様	平成29年度と同様	電話や窓口などで問い合わせがあった際に県制度の案内を行っていく。潜在保育士の名簿の活用について、千葉県へ働きかけていく。
	認定こども園の推進	H28に幼保連携型認定こども園1園新設、保育園から幼保連携型認定こども園に1園移行する。	幼稚園から1園、幼稚園型認定こども園に移行。 保育園から1園、幼保連携型認定こども園に移行。	保育園から3園、幼保連携型認定こども園に移行。	幼保連携型認定こども園1園新設。 H31.4保育園から1園、幼保連携型認定こども園に移行予定。	当面は、幼稚園での長時間預かり保育の拡充で対応。

重点的取組み15

基本目標	地域の特色と活力を生かし、子どもと家庭を支える
施策の方向性	子どもからつながる地域づくり
施策	地域で子育てに関わるネットワークを充実させる

重点的取組み15	学校を中心とした家庭と地域の連携
担当課	子どもわかもの課・生涯学習推進課
対象者	1 家庭教育支援の取組み 中学生以下の子どもを持つ保護者 2 少年センター運営協議会 教育・児童福祉・警察・学識経験・関係機関団体より計16名
計画策定時の状況	1 家庭教育支援の取組み 小学校の保護者同士が家庭教育や家庭教育のあり方について学習する場として、市立小学校44校で家庭教育学級を開設し推進している。 また、3歳児をもつ保護者を対象に幼児家庭教育学級、思春期の子どもを持つ保護者対象に中学校家庭教育学級を開催している。 2 少年センター運営協議会(計4回開催) 参加者数:第1回 12名・第2回 13名・第3回 13名・第4回 12名

具体的事業		内容
266	家庭教育支援の取組み	身近な地域で、家庭教育に関する相談に乗ったり、親子で参加するさまざまな取組みや講座などの学習機会を提供したり、家庭教育に関する情報提供などのしゅみを充実していきます。
268	少年センターの機能強化	家庭や学校にうまく適応できない中高生に対する支援や相談体制を充実させ、少年センター、少年補導員、中学校生徒指導連絡協議会、学校警察連絡協議会による連携を強化し、教育、警察、民生委員、児童委員、子育て支援等の関連機関が連携することにより非行の発生を未然に予防することを目指します。

具体的事業		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	家庭教育支援の取組み					→
	少年センターの機能強化	子育て・教育関連機関との連携による地域会議の強化				→

事業	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)	課題及び対応
実績	<p>家庭教育支援の取組み</p> <p>発達段階に応じた効果的な家庭教育支援施策を研究、検討。幼児期の家庭教育支援を目的に家庭教育啓発パンフレットを作成し配布。パンフレット監修者の講演を実施。</p> <p>【パンフレット監修者】 東北大学加齢医学研究所 所長 川島隆太教授 講演会 平成28年2月27日 260名 パンフレット配布 幼稚園・保育所・保育園の保護者および、子育て関係施設等</p>	<p>発達段階に応じた効果的な家庭教育支援施策を研究、検討。子育ての学習機会を支援する。</p> <p>パンフレットのPR動画を作成しテレビ(J.COM)放映 五香六実地区講演会 会場:高木第二小学校 体育館 東北大学加齢医学研究所 所長 川島隆太教授 平成29年2月25日 263名(パンフレット配布) 母子手帳交付時にパンフレット配布 パンフレットをもとにしたパートナー講座開催16か所</p>	<p>発達段階に応じた効果的な家庭教育支援施策を研究、検討し、子育てについての情報提供及び学習機会をより拡大支援する。</p> <p>・パンフレットPR動画をYouTubeで配信 ・東松戸地区で川島教授の講演会開催 会場:東松戸小学校 講師:東北大学加齢医学研究所 所長 川島隆太教授 平成30年1月20日 181名(パンフレット配布) ・土曜日午後の家庭教育cafe開催 ・パートナー講座開催24か所</p>	<p>発達段階に応じた効果的な家庭教育支援施策を研究、検討し、子育てについての情報提供及び学習機会をより拡大支援する。</p> <p>・古ヶ崎地区で川島教授の講演会開催 会場:古ヶ崎小学校 講師:東北大学加齢医学研究所 所長 川島隆太教授 平成31年2月23日 252名(パンフレット配布) 土曜日午後家庭教育cafe開催 ・入学前の家庭教育学級講座2回開催。外国人の保護者の参加4名 ・パートナー講座開催34か所</p>	<p>(課題) ・子育てに関わる世代においては、共働き世帯やひとり親世帯、外国人保護者の世帯が増加傾向にある。そういった家庭の保護者も参加しやすい学習機会の提供。 ・家庭教育力の向上の効果的な家庭教育の支援。 (対応) ・子ども会や地域での家庭教育啓発パンフレットの動画を活用したパートナー講座の開催。 ・地域での川島教授の講演会開催 ・土曜日又は日曜日の家庭教育学級の充実 ・発達段階に応じた子育て講座開催 ・家庭教育という視点からの幼保小連携</p>
	<p>少年センターの機能強化</p>	<p>少年センター運営会議を開催。 参加者数: 第1回(5月22日)13名 第2回(8月21日)12名 第3回(11月6日)14名 第4回(2月19日)14名</p>	<p>少年センター運営会議を開催。 参加者数: 第1回(5月20日)15名 第2回(8月26日)12名 第3回(11月15日)15名 第4回(2月17日)13名</p>	<p>少年センター運営会議を開催。 参加者数: 第1回(5月25日)11名 第2回(10月31日)15名 第3回(2月21日)13名</p>	<p>少年センター運営会議を開催。 参加者数: 第1回(5月25日)9名 第2回(10月31日)11名 第3回(2月21日)12名</p> <p>内閣府の「子供若者視線地域ネットワーク強化推進事業」の指定地域となり、困難を抱える子供若者をはじめとする全ての子ども若者を対象とした支援をめざして関係機関による研修会を実施した。 ・H30年度 2回開催 ・参加機関等 千葉県、子ども部各課、教育委員会、障害福祉課、警察署、PTA、保護司、少年補導員、青少年相談員、サポステ、NPO他</p>

重点的取組み16

基本目標	地域の特色と活力を生かし、子どもと家庭を支える
施策の方向性	子どもからつながる地域づくり
施策	地域で子育てに関わるネットワークを充実させる

重点的取組み16	子育て支援団体間の協働に向けた取組みの充実
担当課	子育て支援課・子どもわかもの課・障害福祉課
対象者	乳幼児親子・小学生等
計画策定時の状況	<p>1 子育てフェスティバル 年に一度「子育てフェスティバル」を開催。 より多くの情報を提供するため、多くの機関と連携を図っている。</p> <p>2 子育て関係機関の情報交換会 平成25年度より「子育て関係機関の情報交換会」を実施し、地域の子育て関係機関同士の連携強化を図っている。</p> <p>3 子ども・子育て会議 実施回数 平成25年度 全体会 4回 平成26年度 全体会 5回(分科会 2回) 委員人数 22名 内容 松戸市子ども総合計画の策定等</p> <p>4 こども祭り 第41回松戸市こども祭り 5月3日(祝)開催。 場所 :21世紀の森と広場 来場者数:約18,000人 コーナー数:33コーナー</p> <p>5 地域自立支援協議会(こども部会) 障害のある子どもとその家族の「相談と支援」について、現状と課題の共有を目的に毎月実施。</p>

具体的事業	内容
269 子育てフェスティバル事業	子育て支援を行う団体の連携を図り、また、市民に子育ての情報提供ができるように子育てフェスティバルを開催します。
271 子育て関係機関の情報交換会	それぞれの地域の支援者が集まり、情報を共有し連携することで、地域の子育て支援環境の整備を推進し、支援が必要な人に支援が行き届くようなネットワークを構築します。
272 子ども・子育て会議	保護者等を含む子ども・子育て支援の当事者の意見を聴く会議であり、「子ども・子育て支援新制度」に関する事業計画の策定・進捗管理などを行います。
273 こども祭り	市内の子ども達と一緒に集い、各種催し物への参加を通じ楽しい1日を過ごすことにより「子ども達の交流」「親子のふれあい」を図る取組みです。
274 自立支援協議会(こども部会)	障害を持つ子どもとその家族の現状や課題の共有を行い、地域で安心して生活するために必要な支援について協議します。地域の子育て支援施設等と連携します。

具体的事業	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	子育てフェスティバル事業・こども祭り	こども祭り、子育てフェスティバルの開催と団体間の情報共有 実行委員会の開催(年2～3回)			
	子育て関係機関の情報交換会	情報交換会の実施(5か所)	情報交換会の実施(6か所)	情報交換会の実施(7か所)	
	子ども・子育て会議	子ども・子育て会議の開催と推薦団体の連携			
	自立支援協議会(こども部会)	自立支援協議会と子育て支援施設等と連携			

事業	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)	課題及び対応
子育てフェスティバル事業 子ども祭り	<p>子育てフェスティバル(子育て支援課) 実行委員会1回開催(平成27年10月8日) 今後3回実施予定。</p> <p>こども祭り(子どもわかもの課) ●第42回松戸市こども祭り 5月3日(祝) 21世紀の森と広場で開催。 来場者数:約16,000人 コーナー数:32 ※第3回実行委員会を4月15日に実施。</p> <p>●第43回松戸市こども祭り開催にともなう、実行委員会を実施。 第1回実行委員会(平成28年2月10日) 第2回実行委員会(平成28年3月9日)</p>	<p>子育てフェスティバル(子育て支援課) ●松戸子育てフェスティバル2017 平成29年2月26日(日)10時～15時に開催 来場者数:約1784人 実行委員会全4回開催。(平成28年8月1日、平成28年11月8日、平成29年2月7日、平成29年3月23日)</p> <p>こども祭り(子どもわかもの課) ●第43回松戸市こども祭り 5月3日(祝) 21世紀の森と広場で開催。 来場者数:約19,000人 コーナー数:31 ※第3回実行委員会を4月13日に実施。 ●第44回松戸市こども祭り開催にともなう、実行委員会を実施。 第1回実行委員会(平成29年2月8日) 第2回実行委員会(平成29年3月8日)</p>	<p>子育てフェスティバル(子育て支援課) ●松戸子育てフェスティバル2018 平成30年2月25日(日)10時～15時に開催 来場者数:1,397人 実行委員会全4回開催。(平成29年7月6日、平成29年10月11日、平成30年2月2日、平成30年3月22日)</p> <p>こども祭り(子どもわかもの課) ●第44回松戸市こども祭り 5月3日(祝) 21世紀の森と広場で開催。 来場者数:約 コーナー数:32 ※第3回実行委員会を4月12日に実施。 ●第45回松戸市こども祭り開催に伴う、実行委員会を実施。 第1回実行委員会(平成30年2月14日) 第2回実行委員会(平成30年3月22日)</p>	<p>子育てフェスティバル(子育て支援課) ●松戸子育てフェスティバル2019 平成31年2月24日(日)10時～15時に開催 来場者数:約1,625人 実行委員会全4回開催。(平成30年9月20日、平成30年11月14日、平成31年1月31日、平成31年3月28日)</p> <p>こども祭り(子どもわかもの課) ●第45回松戸市こども祭り 5月3日(祝) 21世紀の森と広場で開催予定だったが、荒天のため中止。 来場者数: コーナー予定数:33 ※第3回実行委員会を4月11日に実施。</p>	<p>子育てフェスティバル(子育て支援課) ●来場者の体調不良など緊急時の対応が課題。看護師や保健師などの協力を得るなどの対応を検討する</p> <p>今後の活性化を図る為、参加団体や募集方法について、実行委員会で採決を開始する。</p>
実績 子ども・子育て会議	<p>平成27年度 11月、3月開催 内容:委員25名委嘱 松戸市子ども総合計画進捗について(報告) 保育所利用定員について(審議)</p>	<p>平成28年度 3月開催 内容: 松戸市子ども総合計画の進捗、アンケート調査について(報告) 松戸市子ども総合計画の中間見直しについて(審議) 保育所利用定員について(審議)</p>	<p>平成29年度 7月開催 子どもの未来応援(子どもの貧困対策)について(報告) 保育所入所(待機児童)の状況について(報告) 松戸市子ども総合計画中間年の見直しについて(審議) 平成29年度 10月開催 内容: 委員25名委嘱 松戸市の人口状況について(報告) 松戸市子ども総合計画中間年の見直しについて(審議) 平成29年度 3月開催 内容: 松戸市子ども総合計画の進捗について(報告) 松戸市子ども総合計画中間年の見直しについて(報告) 利用定員について(審議)</p>	<p>平成30年度8月開催 保育所入所(待機児童)の状況について 松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査について 平成30年度11月開催 障害福祉施策について(報告) ・医療的ケア児への支援について ・ライフサポートファイルについて 松戸市子ども・子育て支援に関するワークショップの開催 平成30年度3月開催 第2回会議で開催したワークショップについて(報告) アンケート調査の結果について(報告) 松戸市子ども総合計画の進捗について(報告) 第二期松戸市子ども総合計画骨子案について(報告) 利用定員について(審議)</p>	
子育て関係機関の情報交換会	<p>5箇所で開催。合計211名出席。 ①常盤平・常盤平団地・高木・五香・六実地区:平成27年12月21日 ②明第一～第四:平成28年1月21日 ③馬橋・馬橋西・新松戸:平成28年1月29日 ④小金北部・小金南部・小金原:平成28年2月3日 ⑤松戸・矢切・東部:平成28年2月15日</p>	<p>5箇所で開催。合計241名出席。 ①常盤平・常盤平団地・高木・五香・六実地区:平成27年11月2日 ②明第一～第四:平成28年10月18日 ③馬橋・馬橋西・新松戸:平成28年10月26日 ④小金北部・小金南部・小金原:平成28年11月15日 ⑤松戸・矢切・東部:平成28年11月22日</p>	<p>5箇所で開催。合計281名出席。 ①明第一～第四:平成29年10月2日 ②馬橋・馬橋西・新松戸:平成29年10月24日 ③小金北部・小金南部・小金原:平成29年11月1日 ④常盤平・常盤平団地・高木・五香・六実地区:平成29年11月9日 ⑤松戸・矢切・東部:平成29年11月14日</p>	<p>5箇所で開催。合計204名出席。 ①馬橋・馬橋西・新松戸:平成30年10月10日 ②常盤平・常盤平団地・高木・五香・六実地区:感染症防止のため中止 ③明第一～第四:平成30年10月29日 ④松戸・矢切・東部:平成30年11月2日 ⑤小金北部・小金南部・小金原:平成30年11月20日</p>	
自立支援協議会(こども部会)	<p>毎月1回開催。地域の障害児支援関係者が集まり、連携する。主に、受入先が少ない児童短期入所について、市独自の機能やシステム作りを検討中。</p>	<p>毎月1回開催。地域の障害児支援関係者が集まり、連携する。主に、ライフサポートファイルの導入と放課後等デイサービスの質の向上について検討を行った。</p>	<p>毎月1回開催。地域の障害児支援関係者が集まり、連携する。主に、早期相談支援と放課後等デイサービスの質の向上について検討を行った。</p>	<p>毎月1回開催。地域の障害児支援関係者が集まり、連携する。主に、早期相談支援とライフサポートファイル配布に向けた検討を行った。</p>	<p>地域の課題を抽出し、解決に向けて今後も議論を重ねていきます。</p>

重点的取組み17

基本目標	地域の特色と活力を生かし、子どもと家庭を支える
施策の方向性	子どもからつながる地域づくり
施策	地域で子どもとふれあう機会を増やす

重点的取組み17	子どもを支援する人材の育成
担当課	子育て支援課・子どもわかもの課
対象者	1 子育て支援員認定研修と松戸市人材バンク制度 子育て支援員 2 子どもから広がる地域づくり事業(子育て応援団養成講座) 子育て家庭
計画策定時の状況	1 子育て支援員認定研修と松戸市人材バンク制度 子育てを支援する人材の育成を実施 スタッフ養成講座(平成27年度より「子育て支援員研修」) 修了者数181名 人材バンク 録者数217名(うち就労者数109名) 2 子どもから広がる地域づくり事業(子育て応援団養成講座) 父親のための子育て応援講座「パパ出番ですよ!」全5回実施 地域の大人たちによる「松戸子育て応援団養成講座」6回実施 大人と子どもがにつながる機会作りと併せて人材を育成

具体的事業	内容
275 子育て支援員認定研修と松戸市人材バンク制度	「子育て支援スタッフ養成講座と人材バンク」の仕組みを拡充し、国が新たに創設する「子育て支援員」の認定研修を実施し、支援者として実践的に活躍できる人材の育成と確保を図ります。
276 子どもから広がる地域づくり事業(子育て応援団養成講座)	父親たちが自らの子育てを通じて、地域社会全体の子育てについて考え、子育て中の家族だけでなく、大学生、地域のシニア層を巻き込む子育て支援活動を企画・立案・実施できるようなプレイヤーを育成し、地域に根付く活動をします。

具体的事業	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	子育て支援員認定研修と松戸市人材バンク制度	(40人)	(70人)	(70人)	(70人)
	子どもから広がる地域づくり事業(子育て応援団養成講座)	父親の子育て講座開催とグループ作り(1グループ)	父親の子育て講座開催とグループ作り(1グループ)		父親の子育て講座開催とグループ作り(1グループ)
		子育て応援団養成講座の開催(3回)(70人)	(50人)	(50人)	(50人)
			子育て応援団による活躍の機会の提供の仕組みづくり	フォローアップ講座(年2回)	

事業	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)	課題及び対応
実績	子育て支援員研修修了。(受講者45名) 受講者44名人材バンクに登録。	子育て支援員研修(平成29年3月3日全コース修了) (コース) 地域子育て支援コース・利用者支援事業 放課後児童コース・放課後児童クラブ 地域子育て支援コース・地域子育て支援拠点事業 地域保育コース・一時預かり事業 地域保育コース・小規模保育事業 (受講者)87名	子育て支援員研修(平成30年3月1日全コース修了) (コース) 地域子育て支援コース・利用者支援事業 放課後児童コース・放課後児童クラブ 地域子育て支援コース・地域子育て支援拠点事業 地域保育コース・一時預かり事業 地域保育コース・小規模保育事業 (受講者)48名	子育て支援員研修(平成31年3月7日全コース修了) (コース) 放課後児童コース・放課後児童クラブ 地域子育て支援コース・地域子育て支援拠点事業 地域保育コース・一時預かり事業 地域保育コース・小規模保育事業 (受講者)40名	研修修了後、より多くの受講者を就労へと結びつけること。子育て支援事業運営法人への働きかけを行う。
	子どもから広がる地域づくり事業(子育て応援団養成講座)	「冒険子どもの遊び場ボランティア養成講座」として開催(15名全3回)	「子どもの命を守るパパ講座」として男女共同参画課と共催。全3回開催(1日目20名 2日目26名 3日目 14名)	「地域に響けおやじ力」として、聖徳大学と共催。全5回の講習会を開催予定。 ①第1回講習会(8月6日)「非常時に役立つキャンプ用具とは」5名 ②第2回講習会(8月26日～27日)「バーベキューで学ぶキャンプ道具の活用法」中止 ③第3回講演会「地域に響く親力」23名 ※第4回、第5回は中止	○支援者向け講習会の開催(2回) ○青少年健全育成講演会(1日)